



東京都社会福祉事業団

七生福祉園 園だより

令和5年3月発行 第281号

令和4年度 福祉サービス第三者評価結果報告

今年度も福祉サービス第三者評価を受審しました。評価機関は一般社団法人Riccolab.です。
児童施設と成人施設の概要は次のとおりです。



詳細は、「とうきょう福祉ナビゲーション (<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>)」又は管理棟の閲覧用ファイルでご覧いただけます。
ファイルを閲覧希望の方は、職員にお申し出ください。
園では評価結果を踏まえ、利用者サービスのより一層の向上に努めてまいります。

児童施設(福祉型障害児入所施設)	成人施設(障害者支援施設)
特に良いと思う点 - 生活寮での様々な行事、医療機関や公共施設の利用など、日常の中で様々な社会体験を積み、可能性の幅を広げていけるよう支援している - 措置入所が7割を占める状況にあり、子どもの権利擁護について丁寧に説明を行うとともに、職員自身もそれを意識した支援を心がけている - 規程の改定を行い給与水準を高める等により、職員がモチベーションを維持しながら働き続ける職場作りに努めている	特に良いと思う点 - 高齢虚弱化に柔軟に対応していけるよう、高齢者を対象にした日中活動班を展開しており、個々の心身の状況に応じた支援を提供している - 利用者の意向・要望を第一に、本人が望む生活の実現についての検討を重ねて個別支援計画を策定し、実践につなげている - 規程の改定を行い給与水準を高める等により、職員がモチベーションを維持しながら働き続ける職場作りに努めている
さらなる改善が望まれる点 - 職員の定着を目指した取り組みが進む一方、中堅職員の定着率が低い状況が続いているため、引き続き対策を講じていくことが望まれる - 現状の入所支援計画に視覚情報を盛り込む等して、子どもの意思をより明確に反映し、わかりやすい内容となるよう工夫することが望まれる - 将来を見据えてスマートフォンの活用方法やリスクに対する学びなど、社会情勢に見合った社会体験の機会を導入していくことが期待される	さらなる改善が望まれる点 - 職員の定着を目指した取り組みが進む一方、中堅職員の定着率が低い状況が続いているため、引き続き対策を講じていくことが望まれる - 苦情解決のしくみについて、利用者の認知度をさらに高めるために、第三者委員の顔写真を掲示する等、視覚情報の工夫を検討されたい - 現在導入しているICT機器や介護ロボットに加え、進化する機器の情報収集を継続して行い、新たな支援に活用していくことが期待される
特に力を入れている取り組み - 新型コロナウイルス感染症対策に万全を期し、行動制限の緩和につなげている - 子ども本人、周囲の安全と安心の保持のために必要対応を組織的に検討・実施している - 各部署が連携を図りながら、個々の希望や特性に応じた地域移行支援を実施している	特に力を入れている取り組み - 言語聴覚士の配置等、利用者の状態に適した専門的な支援ができる体制を整えている - 地域移行等の際には、必要な関係機関との連携を密にして支援の継続性に留意している - 利用者個々の能力を発揮していけるよう多彩な日中活動プログラムを展開している

当園の園だよりは知的障害のある方への合理的配慮からルビをつけて提供しております。ルビ無しをご希望の方は当園職員までお申し出ください。

短期入所(児童支援部門)	短期入所(成人支援部門)
特に良いと思う点	特に良いと思う点
1. 生活寮での様々な行事、近隣店舗や公共施設の利用など、日常の中で様々な社会体験を積み、可能性の幅を広げていけるよう支援している	1. 今年度より感染対策を講じて、受け入れ方法を工夫することによって段階的に利用の促進を図り利用率の増加につなげている
2. 窓口担当が支援に必要な子どもの情報をまとめて担当寮へ提供することで、スムーズな受け入れを心がけている	2. 利用者台帳を作成して生活面や健康面、これまでの支援経過といった個人情報を集約することで、継続した支援に繋げていけるよう努めている
3. 規程の改定を行い給与水準を高める等により、職員がモチベーションを維持しながら働き続ける職場作りに努めている	3. 規程の改定を行い給与水準を高める等により、職員がモチベーションを維持しながら働き続ける職場作りに努めている
さらなる改善が望まれる点	さらなる改善が望まれる点
1. 職員の定着を目指した取り組みが進む一方、中堅職員の定着率が低い状況が続いているため、引き続き対策を講じていくことが望まれる	1. 職員の定着を目指した取り組みが進む一方、中堅職員の定着率が低い状況が続いているため、引き続き対策を講じていくことが望まれる
2. 短期入所事業の役割と使命、利用の流れをわかりやすく可視化することで職員の理解を深め、支援に臨めるよう期待される	2. 短期入所事業の役割や入退所のしくみについての職員の理解をさらに深められるようプロセスを可視化することが期待される
3. ICT化を進める中、「受け入れ調査票」の基本情報も年度毎に更新するしくみを確立させて、支援の向上につなげられたい	3. 現在導入しているICT機器や介護ロボットに加え、進化する機器の情報収集を継続して行い、新たな支援に活用していくことが期待される
特に力を入れている取り組み	特に力を入れている取り組み
1. セーフティネットの役割を認識し、短期入所の利用ニーズに対応できるように図っている	1. 言語聴覚士の配置等、利用者の状態に適した専門的な支援ができる体制を整えている
2. 情報は保護者や関係者等から可能な限り収集し、子どもの理解を深め支援に活かしている	2. 受け入れ時には寮と本人とのマッチングを図り、安心して暮らせるよう努めている
3. 福祉サービスや在宅支援に関する相談対応など丁寧な家族サポートを行っている	3. 利用者個々の能力を発揮していけるよう多彩な日中活動プログラムを展開している

今年度の利用者の地域生活移行と入退所の状況など（令和5年2月28日現在）

児童	入所	退所	退所先内訳		
			グループホーム	成人施設	家庭
	4	5	4	0	1
成人	入所	退所	退所先内訳		
			グループホーム	他施設	その他
	0	10	1	6	3

【児童支援部門】

今年度（令和5年2月28日現在）の入退所状況

ですが、4歳から15歳までの児童4名が新しく入所し、退所した児童は5名でした。グループホームに移行された方は4名、家庭復帰は1名でした。

【成人支援部門】

退所された方の内訳としては、グループホームに移行された方は1名、他施設に移行された方が6名、その他が3名でした。